

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/10/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



米欧のロシア石油会社に対する制裁で急反発

NY原油先物相場は、1バレル=55.96ドルまで値下がりして5月5日以来の安値を更新した後、61ドル台中盤まで急反発する展開になった。週前半は需給緩和見通しを背景に上値の重い展開が続いた。4月の年初来安値55.12ドルに迫る展開になった。しかし、10月22日引け後に米財務省がロシア石油会社に対する制裁を発表すると、ロシア産原油の供給不安を織り込む形で、62.59ドルまで急反発した。

米財務省はロシア石油大手ロスネフチとルクオイル、及びその子会社に対して米国内資産の凍結などの制裁を発表した。また、欧州連合（EU）も歩調を合わせ、ロシア石油会社の他、中国石油業者なども制裁対象にしている。ウクライナ和平協議が進展しない中、欧米諸国が改めてロシア産原油に対する制裁を強化している。どの程度の実効性があるのかは不透明感も強いが、中国やインドの石油業者は制裁内容を見極め、二次制裁を回避するためにロシア産原油の取引を一時停止するなど対応を迫られており、少なくとも短期的な需給の混乱が警戒された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月17日時点）は、原油が前週比96万バレル減、ガソリンが215万バレル減、石油精製品が148万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

ロシア産の供給リスク見極め、短期的には波乱の展開に

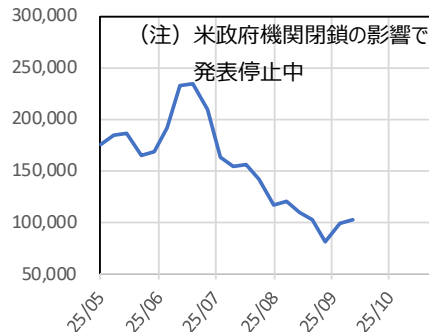
ロシア産の供給不安が再浮上した以上、暫くは現行価格水準で不規則な値動きが続きやすい。欧米のロシア石油会社に対する制裁には一定の効果が想定されるが、それがロシアの原油輸出にどの程度の影響を与えるかについては不透明感が強い。当面は、中国やインドがロシア産原油の取引量を削減し、中東産原油の調達を増やす動きが想定されるため、一定の混乱状況は想定しておく必要がある。需給緩和状態が続く中で一気に70ドル水準を打診する可能性は低いが、65ドルに近づく程度の展開は想定しておく必要がある。

一方、現在の国際原油市場は大規模な供給過剰を抱えており、年末に向けて世界的に原油在庫の積み増しが進みやすい環境に変化は生じない。ロシア産原油の供給が数十万バレル規模で落ち込む可能性はあるが、現在の市場環境であれば供給過剰見通しに変化は生じない。また、石油輸出国機構

(OPEC) プラスは大規模な増産余力を有している。クウェート石油相は、必要であればOPECが増産する用意があると発言している。このため、短期的に上振れリスクを抱えた不安定な地合を続けつつ、徐々に上値の重さを再確認していく展開になる見通し。価格水準を大きく切り上げる動きには発展しづらく、これまでと同様に短期上昇リスクとの評価に留まろう。60ドル台を維持し、更に値位置を切り上げていくのは難しい。

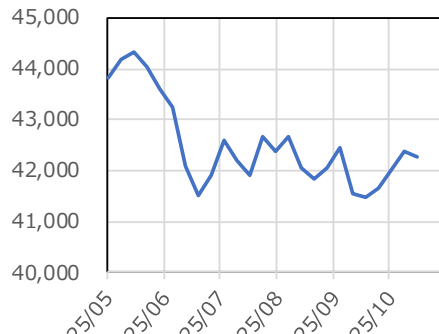
11月2日にはOPECプラス会合が予定されている。OPECプラスは2ヵ月連続で減産規模を縮小中だが、12月も減産縮小を続けるのか、思惑的な売買が活発化する可能性に注意が必要。また、10月30日には米中首脳会談が開催される。今後の米中関係の行方を占う重要イベントになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



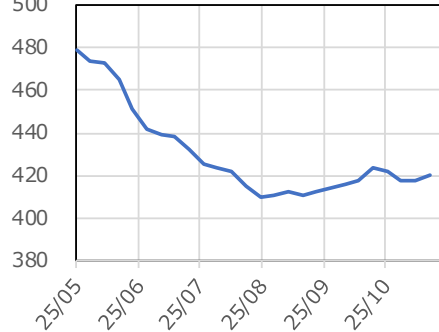
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

